

コンバイン後方からの粃排出を少なくするには？

漏生イネの発生源として、2番穂の結実以外に、刈取り時のロスも考えられます。

コンバインによる収穫では、脱穀と選別を圃場内で刈りながら行うため、どうしても選別しきれなかった一部の健全な粃が圃場内に排出されてしまいます。

漏生イネ発生源を減らすだけでなく、せっかく実った粃の収穫ロスを減らす観点でも、下記の点に注意して刈取り作業を実施するよう心がけてください。

最大の要因

コンバイン内部の脱穀・選別部が詰まり、選別能力を超えて刈取りを進めると、後方のワラ排出部から、健全な粃が排出されてしまう！

じゃあ、どうすれば・・・？

ポイント1. 濡れた状態で刈らない

- ・朝露や雨など、濡れた状態で刈ると、内部の選別部（図1）が詰まりやすくなります。
- ・選別部が詰まった状態で刈取りを続けると、選別能力が低下し、ワラ等と一緒に健全粃が後ろから排出されやすくなります。
- ・「濡れモード」等が搭載されている機種では、上記のような条件のときには必ず選択するようにしてください。



図1

ポイント2. 走行速度を上げすぎない

- ・「走行速度が速い＝選別部にも高負荷がかかる」ため、稲が濡れている等で選別能力が低くなりやすい条件のときには、速度を落とすことが重要です。
- ・走行速度（＝刈取り量）に対し選別能力が低下している状態がゲージ（図2）（メーター一部に示される「シーブ」等）に表示されている場合には、速度を落として、選別が追いつくのを待ってください。
- ・上記のような条件のとき、エンジン回転数が落ちるとともに、刈取り量に対し選別能力が追いついていないことを示す警告音が鳴動する機能があります。その場合は、エンジン回転数が正常域に戻るまで、足を止めて（走行停止して刈取りをストップ）ください。

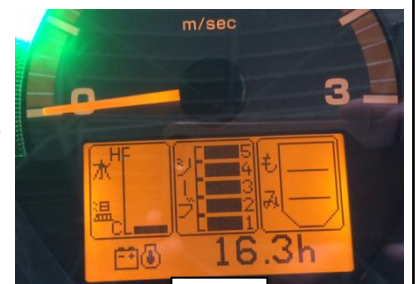


図2

ポイント3. 整備・清掃をきちんと実施する

- ・コンバインの中を開けて、「受網」や「揺動板」、「ストロラック」等、選別部の詰まりをこまめに清掃してください。
- ・ワラ排出部の受板（図3）を上下に調整できる機種では、取付位置を高い方に調整した方が健全粃の排出が少なくなります。
- ・掃除口のフタが閉まっているかの確認はもちろん、粃の流れる各部のパッキンが劣化していないか等もチェックしてください。



図3